

# 平成21年度河川環境実務者研修

水辺・まちづくりグループ 研究員 永島 昇

## 1. はじめに

財団法人リバーフロント整備センターでは、公益事業の一環として河川環境に携わる実務技術者の方を対象に、現場で役立つ最新技術を幅広く活用していただくため「河川環境実務者研修」を行っています。今年度は、8月5日～7日の3日間で行いました。

本研修では、多自然川づくりに関する基礎的な知識を学ぶとともに、実際の現場を通して、川の特徴や課題を把握し、川の自然回復手法を検討しました。本研修の最大の特徴は、現地調査及び模型製作（空間設計）により設計演習を行う、体験型の研修内容になっていることです。

## 2. 概要

今回は、愛知県名古屋市を流れる二級河川天白川を対象フィールドとして、多自然川づくりの演習を行いました。また、希望者のみ、岐阜県各務原市にある独立行政法人土木研究所自然共生研究センターの実験河川の見学を行いました。

天白川の現地及び研修会場では、河川管理者である愛知県尾張建設事務所の白村氏、佐藤氏より天白川の概要説明をしていただき、自然共生研究センターでは、萱場氏より実験施設のご説明をしていただきました。

■日程：平成21年8月5日（水）～7日（金）

8月5日：自然共生研究センター実験河川の見学

8月6～7日：多自然川づくり設計演習

### ■演習対象河川

二級河川天白川（野中橋～菅田橋 L=500m）

### ■演習プログラムの概要

現場調査（現場を見る目／課題の発見）→川づくりイメージ図の作成（構想力／空間イメージ）→模型製作（1/200スケールの地形処理／土木工事）といった一連の作業により、川づくり（多自然川づくり／景観整備）に関する基礎的な知識を養う。

なお、演習は、(株)吉村伸一流域計画室の吉村氏の協力を得て実施しました。

## 3. 研修結果

研修参加者は28名で、その内訳は、コンサルタント13名、メーカー2名、行政13名でした。

研修後のアンケートでは、全員の方から「有意義

であった」との回答を得ました。特に、「レクチャーは分かりやすかった」「様々な業種の方からいろいろな意見が聞けて良かった」「模型製作は空間をイメージしやすかった」などの意見を多くいただきました。

今後とも、アンケート結果等を踏まえ、河川環境に携わる方々に役立つような企画をしていきたいと考えています。

## 4. おわりに

本研修の実施にあたり、ご協力をいただきました方々、ご参加いただいた皆様へ、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



写真-1 自然共生研究センター見学



写真-2 天白川現地調査



写真-3 グループ発表



写真-4 模型製作